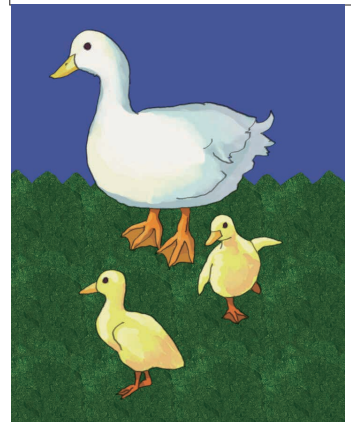


てんぎょう 轉教

2017 6 Jun

平成 29 年 6 月 1 日発行
第 18 卷第 6 号 通算 208 号
編集兼発行人 山本 久男
發行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應
〒 113-0021
東京都文京区本駒込 6 - 6 - 11
☎ 03-5319-3490
FAX 03-5319-3491



題 字：水谷日尚上人
(Web 版)

ご奉公のこころ

寂光参拝を視野に

ゴールデンウィークに差しかかる
少し手前の晴れた日に、九十八歳と
九十九歳の信者がお助行の席で面談
し、お互いの健康をたたえ合いました。
双方ともに、相手の言葉を十分には聞
きとれていなかったようですが、話の

中身は人生を語る重みのあるものでし
た。

曰く、こうして健康で生きていら
れるだけでもとても有りがたいこと
だから、私は感謝しながら暮らしてい
る。自分でできることは何でも自分で

水谷 信 洋

やっている。皆さんも手足をよく動かして、自分を甘やかさないようにしてくださいよ。家は息子夫婦の帰りが晚いから、食事は今も私がつくっています。その時に一日のことを話し合わないと家族の会話がなくなっちゃうから。一日あったことを話しかうと、何ともいえない幸せを感じますよ。これもすべて御法様のおかげです。

もう一方の曰く、もう歩けないので車いすの生活になってしまったが、施設に連れて行ってもらってお風呂に入り、お友達もできていろいろ話

を聞くと、私はなんて幸せ者だろうと改めて感じますよ。心臓が悪かった私がこんな長生きして子や孫に囲まれて暮らせるなんて考えもしなかったことです。一日一日生きていられる幸せをかみしめ、御宝前に感謝しています。

どちらも、寂光参拝することのできる御題目に出会ったよろこびを基準にして日々を送っているのです。身の回りのことごとに小さな幸せをたくさん感じ取っていて、それらがすべてお題目の真実を証明する現証利益になっているのです。

生涯現役で暮らしたい、逝くときはいさぎよくパツと事切りたい、と願わぬ人はいません。でも、生老病死という人生の宿命の苦は、そう簡単に打ち切り切れるものではありません。どんなに運動しても食事に気を配っても、やがては手足を動かしくくなる時が来るのは仕方ないことなのです。では、老いの苦しみに見舞われたら生きる喜びも朽ち果ててしまうのでしょうか。そうではありません。御持念誦文にもあるように、法華経の教義はこの一生の御奉公を終えても、まだ救い残し

ている人々がいるのであるから、生まれ変わってふたたび如説修行に励むお役目があるぞ、と教えています。一日でも生きていられれば、たとえ体が動かなくてもお題目を唱えて罪障消滅を祈ることが出来ます。どんな問題も御宝前に御祈願をかけて乗り越えましょう。先祖代々の塔婆をたてて罪障消滅を祈りましょう。

開導聖人御教歌

『現世より未来大事と行ずれば』

今世も共に所願成就』

6月のご奉公のすすめ

今月18日には、開導会を奉修させていただきます。報恩の志で次世代の方々に応援祈願やご回向をすすめ、下種結縁に励みましょう。

一、随喜轉教について

「法華經の題目を唱えて、他人の幸福を願うことが今まことが出来る最善の種まきです」と教わっています。若い人たちに他人の幸せを願って祈願を書く喜びを伝えましょう。

・「開講本旨再興祈願」朝参詣週間 1日(木)～7日(水)

・「開講本旨再興祈願」口唱会 4日(日)午前9時半

二、開導会

開導会は6月18日(日)に奉修されます。座割は次の通りです。

《第一座》 10時

第1地区、第2地区の目黒・世田谷・品川連合、妙証会、特別教区のみなさん

《第二座》 11時半

第2地区のかながわ・多摩連合、第3地区、妙証会、特別教区のみなさん

三大会は全信徒が願主となつ

6月の寺内行事予定表

1日～7日	開講本旨再興祈願 朝参詣週間
1日(木)	開講本旨再興祈願総講 午前10時
3日(土)	運営会議 午前9時半
4日(日)	開講本旨再興祈願口唱会 午前9時半
10日(土)	連合幹事会 午前9時半
〃	後続者育成係連絡会 午前10時半
11日(日)	団参・聞信寺(静岡)開導会 担当第一地区
13日(火)	高祖大士御命日総講 午前10時半
17日(土)	開導会全体会議・準備ご奉公 午前9時半
18日(日)	開導会 午前10時・午前11時半
25日(水)	座割は14頁参照 門祖聖人御命日総講 午前10時半
	正副教区長会 午後12時半
	一地区…和室
	二地区…2階ホール
	三地区…1階ホール

三、静岡聞信寺団参
6月11日(日)は聞信寺開導会の団参です。参詣当番は第一地区です。同志寺院のご弘通の応援となる大切なご奉公です。大勢で参詣させて頂きましょう。



テーマは「ご宝前のお給仕」です。お敬いを伝える大切な心得です。ぜひ受講しましょう。

五、七月の行事予告

・夏期参詣

7月1日(土)から7月31日(月)までです。日曜日には御利益談とおうどんのご供養があります。今のうちから班内家族の将引をさせて頂きましょう。

・夏季錬成会

今月のうちから各地区で計画を立て、次世代の方々も参加出来るようすすめてください。

・夏季総回向

7月23日(日)に奉修されます。本堂ならびに六角堂に参詣しましょう。

四、信徒講習会

平成29年度、第一回信徒講習会を下段の日程で開催します。

◎ 信徒講習会

《テーマ…ご宝前のお給仕》
6月4日(日)午前11時半
6月13日(火)午後12時半
6月24日(土)午前9時半

日尚上人御祥月法要六角堂奉告文

この一年を振り返り、明日に向かう決意

4月
22

待ちに待った開筵式が4月22日、23日に奉修されました。六角堂での奉告式に始まり、本駒込本堂での式典、そして東京湾クルーズでの祝賀会までの一連のご奉公を振り返って見ました。

① 開講本旨再興日尚上人御祥月法要に際し、六角堂日尚上人御霊前において謹みて平成二十八年度妙應寺御奉公の概要

を奉告申し上げます。先ず初めに、昨年の五月五日から開始された本駒込新本堂での勤行も、

信徒一同の喜びの朝参詣に支えられて今日まで滞りなく執り行なわれ、佛立本旨講弘通発展を期す根本道場として活用されています。また、予てからの念願であった宗教法人の取得も、昨年末に文部科学大臣の認証が得られました。こうして、本駒込新本堂の建立と宗教法人の取得という重要課題が実現し、佛立本旨講の妙法口唱信行による現証御利益を後世に伝えるのこす準

備はすべて整ったことになりました。

② 思い返せば、昭和六十年頃のバブル景気に乗って、宗内で基本財産積立金流用による株式投資が秘かに行われていました。当時の宗務本庁財務局長から財務上の問題点を打ち明けられた日尚上人は、事件の全貌を明らかに宗内に公表して直ちに懺悔改良を誓い、宗門全体の協力により損金の穴埋めをすべきと提言しました。しかし、この提言は、株式投資推進派によってにべもなく断られ、以来、宗務本庁役員らによる決算書の粉飾その他の隠蔽工作がつづき、

平成十年十月に日尚上人が宗門から離脱して妙應寺に移るまで、ずっと戦いの日々が続きました。平成十五年四月二十三日未明に日尚上人は御遷化されましたが、それまでの約十五年間というものは「開導聖人の開講本旨を守るには、宗派を離脱して新たな宗門を設立する以外にない」と苦渋の決断をなさり、開講本旨再興の御奉公に心血を注がれたのです。

③ 後に残された日尚上人門下教講一同は、日尚上人の開講本旨再興の思いを引き継ぐべく、三島聞泉寺益田日記上人のご教導をいただいて、平成十八

年四月には佛立本旨講創立式を挙行、平成十九年五月には日尚上人御霊廟事教院六角堂を建立し、平成二十四年五月には中野妙清会との紛争も完全に終結し、七月から千代田区四番町に仮道場を構え、そして平成二十八年五月に漸く本駒込新本堂の完成を見ることができました。

④ 本年四月一日は、奇しくも佛立開導日扇聖人の御生誕二百年にあたります。艱難辛苦を乗り越えてなお開講本旨再興をめざす我々日尚上人門下の御奉公を、開導聖人がお喜びくださらない筈はありません。本年度の

御奉公は教化誓願成就をテーマにして、現証利益のあらたかな妙法口唱信行を後世に伝え遺してゆく所存です。

⑤ 後先になりましたが、明4月23日には本駒込本堂で日尚上人御祥月法要にあわせて新本堂開筵式を奉修させていただきました。その後は東京湾クルーズ船で祝賀会を開催させていただく予定です。我ら末弟の微意をご照覧ください。一層のご冥加を賜らんことをお願い、奉告とさせていただきます。

佛立本旨講妙應寺住職
日在 合掌



4月
23



式典第一会場（本堂）

開筵式式典

祝辞（抄）



わかりやすく話して下さった。真実の教え、真実の行の結果だ

訓辞（抄）



妙應寺 日在 御導師

日尚上人の思いを受け継ごうという我々の思いが、御法様から力を頂いたのだ。昭和

六十年、佛立宗の事件が発覚してから三十年、この経緯を知る人は少なくなった。だが、日尚上人の苦勞、努力による御決意のおかげだということ、伝え遺していかななくてはいけない

4月23日午前9時、本堂に入りきれない463名にもなったお参詣者は、二階の和室・ロビーをもういっぱいにしました。第二・第三会場には本堂の様子を大型モニターで投影し、御看経、式典に寺内どこにいても参加することができました。

このページでは、開講本旨再興日尚上人祥月ご命日法要に併せて奉修されました開筵式式典の様子を当日のスナップ写真を中心にお伝えします。

日尚上人へお焼香



新本堂設計・建設関係者への感謝状の贈呈



御戒壇制作 仏師 森純一氏

本堂改修 東京夢工房 緒方和之社長



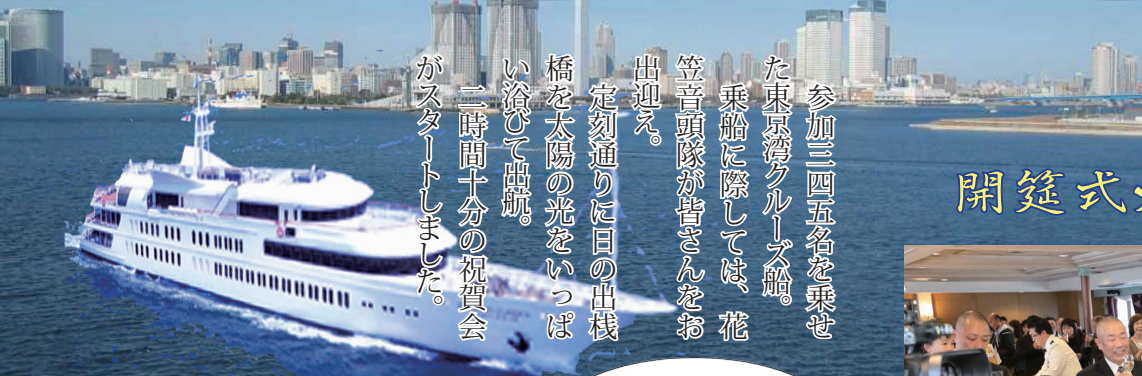
式典第二会場（和室）



式典第三会場（二階ホール）



入口には山門幕に加えて新たに五色幕が飾られお参詣者をお迎えしました。御供養にはパウンドケーキが準備されました。



参加三四五名を乗せた東京湾クルーズ船。乗船に際しては、花笠音頭隊が皆さんをお出迎え。定刻通りに日の出棧橋を太陽の光をいっぱい浴びて出航。二時間十分の祝賀会がスタートしました。

開筵式祝賀会

11:30 クルーズ船乗船開始



お天気に恵まれ、乗船するときの花笠音頭が華やかさを添えて良かったです。中里教区 鳥海早智子



12:00 乾杯

信徒を代表して、家室宏邦責任役員が乾杯の音頭を取りました



11:50 祝賀会が始まりました



船遊びの体験をしたこと上なかつたので、想像以上が大変楽しい二時間がアツという間でした。中里教区 関有明子



♪大きな栗の木の下で...♪



食事が一段落した十二時半、一階のコンチェルトで歌声喫茶が始まりました。子供さんたちも合唱に参加し、よろこんでマイクの前に立って、可愛らしく歌ってくれました。



参加者全てに景品の当たる、空くしなしのビンゴゲームだよ

あら、ビンゴよ



13:20 ビンゴ大会



長野から楽しみにやってきました。



見てください、この抜けるような青空、潮風にあたっていただく御供養のビュッフェは最高！

西行庵を出て行かざるを得なくなつた日扇聖人は、その後、京都の各所を転々とします。合計、八度居を移したといわれています。

しかし、どこへ行つても、病人をお題目で治す御利益を見た人が次々と信者になつてゆきま



例えば、綾小路東洞院で間借りした時は家主のお医者さんまでお教化になりました

た。しかし、ここでも、「人の出入りが多すぎて差し障りがある」という苦情で出て行かざるを得なくなりま

佛立講の開講

一方、日扇聖人が身を寄せていた日蓮宗八品派（のちの本門法華宗）では、宗内での教義上の論争がおこり、本来のお題目

中心の活動がおろそかになりま



そんな状況に、日扇聖人は愛想をつかし、

それならば、自分の手で、日蓮聖人、日隆聖人の教えを正しく弘めなおそうと、本門佛立講を開講します。

様々なアイデア

そのための具体的行動計画の



一つがこの絵です。京都蛸薬師から嵯峨まで、多く



の御信者さんが宣伝パレード。このようにして、日扇聖人の教えは瞬く間に京都中に弘

がってゆきますが、その反動も大きく、他宗からの誹謗中傷も激しく、数々のご法難に遭います。そのような困難を克服して、現在の私たちの礎を築いて下さいました。今年、日扇聖人がご誕生になつて二〇〇年。報恩の思いで、今年の開導会のご奉公をさせて頂きましょう。

1日〜7日 開講本旨再興祈願朝参詣週間

1日(土) 開講本旨再興祈願総講を午前10時半から奉修、地区・連合・教区・事務局辞令伝達式並びに平成29年度ご奉公の誓いを併修

2日(日) 開講本旨再興日尚上人祥月御命日法要・開筵式奉修費奉納、御塔婆申込、参詣人数締切

8日(土) 運営会議を午前9時半より開催

13日(木) 高祖大士御命日総講を午前10時半より奉修

15日(土) 連合幹事会を午前9時半より開催

// 後継者育成連絡会を午前10時半より開催

16日(日) 開導会奉修本部会議を午前9時半より開催

17日(月) 開導聖人御命日総講を午前10時半より奉修

21日(金) 開筵式奉修会議、準備ご奉公を午前9時より開催

22日(土) 開講本旨再興日尚上人祥月御命日法要・奉告式を午前11時半より奉修〈六角堂〉

23日(日) 開筵式・開講本旨再興日尚上人祥月御命日法要を午前9時より奉修、開筵式祝賀会(東京湾クルーズ)を午前11時50分より開催

25日(火) 門祖聖人御命日総講を午前10時半より奉修

// 正副教区長会を午後12時半より開催

30日(日) 立教開宗記念5時間口唱会を午前9時半より奉修

立教開宗記念五時間口唱会



日蓮聖人の立教開宗への御苦
勞をしのび、5時間口唱会を今
年もゴールデン・ウィークの始

まった4月30日午前9時半より
奉修させていただきました。

先週の開筵式の興奮がまだ醒
めやらぬご信者の元気な、そし
て喜びの顔、顔、顔。164名

のお参詣者で、本堂は埋まり、
大きな声のお題目があがりまし
た。

気の引き締まる思いとそのお
題目との一体感がうれしく、こ
の勢いで本年度の目標であるお
教化に全信徒で邁進しましよ
う。



開導会にお参詣を！



幕末から明治時代にかけて、

蓮隆兩祖の流れを正しい方向に

かいほうきょうどう

開発教導して下さいました日

扇聖人のご苦勞により、今日の

私たちがあると言えます。

そんなご恩に報いる開導会

は、今年から6月に奉修させて

いただきます。

教区・班内・ご家族にお伝え

し、そろってお参詣をすすめて

下さい。

当日の座割は4ページの今月

の予定表をご参照ください。

☆開筵式記念品

新しい信行手帳を配布します

開筵式を記念して、新しい信
行手帳を作りました。全ての信
徒の皆さんにお配りいたしま
す。

「無始已来」から「久遠偈」
までの御看經の基本的内容は変
わりませんが、一部の漢字は新
常用漢字に統一し、ルビ（ふり

仮名）についても現代仮名遣い
に準拠しました。

「五悔の文」では、「十」の読
み方を「十方」「十界」にしま
した。

「如説修行抄」では、「日蓮聖
人御遺文講義第八卷」を参照し
て、一部書き換えられています。

第五段「入て」は「入りて」、
「西は東となり大地」は「大地」、
「地と成るためしは」は「地」と
読み方を訂正しました。

巻末の「各種言上文」は、「無
始已来」に始まって、「無始已来」
で終わる一連の流れを省略する

ことなく記述しております。

「甲の御講の後の御礼の御看經
のあげ方」「御宝前のお給仕の
後の懺悔言上のあげ方」など五
つの御看經のあげ方に使いやす
さを視点に編集しております。

体裁は、従来通りのサイズB6
判、64ページです。

「妙講一座の意義」「如説修行
抄の内容について」「日月偈・
久遠偈について」という分かり
易い解説を御導師が書いてくだ
さいました。

普段お唱えしている妙講一座
について理解を深めたいという信
行に励んでみましょう。

信行手帳

佛立本旨講妙應寺



ゆかへ

第一地区都中里連合中里教区 Tさん

あなたがこれまで、いただいたご利益を一度話しておきたいと思って、文章にしてみました。ゆかは予定日より二週間遅れて生まれました。桐ヶ丘のご宝前でお母さんは毎日五本のお看経をして、一日も早く生まれるようにお願いをしていました。あなたはお腹の中で一緒にお看経をしていたのかもしれない。2週間以内に生まれなければ帝王切開と言われましたが、御宝前は私たちにご利益を感じさせてくださいました。

陣痛が始まり分娩台に移った瞬間に生まれました。何とか自然分娩で誕生できたのです。元気な女の子でした。あなたを腕に抱いたとき、誰にでもかわいがられる子に育つてくださいとお願いました。初参りはお爺ちゃんの手で渋谷の乗泉寺でした。お祖母ちゃんは渡米中でした。

初参りには着物で三歳の七五三では赤い被布ひふに、七歳の時には振袖を着て、お参詣しました。

おかげさまで、大きな病気もせずによく育ってくれました。

小学校へ入学、色々ありました。お守りいただいていると感じた事件がありました。あなたが覚えていないかもしれませんが、学校帰りにエレベーターと一緒に上った人に屋上で連れていかれたことです。怖い目にあいましたね。そのとき、たまにたま住人の方が屋上で洗濯物を取り込んでいて、おかしいと気づき、声をかけてくださり、事なきを得ました。

わたしはいつもおばちゃんから、ご信心はいざという時に子供を守っていただくために、日頃からしておくものですと言わ

れていました。このときほど、本当にそのとおりだと感じたことはありませんでした。

あなたは、楽しい三年間の高校生活を送り、無事に卒業しました。そして、青山製図学校へ入学。卒業の年は就職難で、大変でした。入社試験中は、お母さんがご宝前で、お看経をして応援していました。無事、今の会社へ就職でき、十七年が過ぎました。

健康には恵まれてここまで来たので、今回このような病気（ネフローゼ）になるとは思いもありませんでした。

人間が生きていく一寸先は全くわからないと、つくづく実感しました。

自分の身ではなく娘のゆかが苦しむなんて、親としてどんなにつらいことか、言葉では言い表せません。

でも、入院中にお父さんが言ってくれた一言があなたを救ったと思っています。

「お寺では、ゆかのために皆さん（信者）が応援祈願をかけて（本堂で）お看経をあげてくれるから心配ないよ、大丈夫だよ」わたしはこの言葉に、本当に救われました。ありがたいなあと、お父さんと一緒に、ご宝前に感謝しました。

自宅へ、お助行に来てくださったお講師はゆかへ「私たちは常に魂と戦っているのだということです」というメッセージ

をくれましたね、どんなに力強かったかしれません。前向きに戦って行ってほしいと思います。

ゆかが、「ベッドで少しだけお看経をしているよ」と言ってくれたことにも感謝しています。わたしが変わってあげることとはできないけど、後ろから支えることは出来ます。

病気とはこれから長い付き合いになると思います。家族三人でスクラムを組んで乗り切りましょう。ご宝前からご利益を頂き、かならず病気は治ります！こうしてお守り頂いてきたことを、あなたに残しておきたいと思ひ、手紙を綴りました。

母より

家族の絆

第二地区 嶋村直子

今月は第二地区品川連合品川教区のOさん宅で後継者育成成功が開催されました。

Oさんの一人息子のZさんは、腎臓の機能が慢性的に低下していく病で、昨年は症状が進んで透析になる一歩寸前でお計らいを頂きました。

その後は、順調に回復させていただき、無事退院されて現在に至っています。

母親のOさんは、私達が見ていても感心するほど、息子さんの面倒を献身的に看ておられま

す。息子さんはお母さんを頼って一緒にお寺参詣に励み、団参にも同行されて親子でご奉公の功德を積まれています。

お母さんに対する息子さんの思いと、息子さんのお母さんに対する思いを見ていると胸が熱くなります。

世間の声では、家族の絆とは？ 家族愛とは？ と、家族の温かさや尊さを知らない人たちがいる世の中で、信者の家庭は幸せです。

ご信心で培われた家族の愛情

は、どんなことがあっても乗り越えて行ける力を下さるのですね。さすがにご信者さんの親子だなと感心致しました。

四月二十三日の祝賀会には、一人でも多くの出席者があるように将引のご奉公に励みましよう、と話が出ましたので、皆で手落ちがないように確認し合いました。



★こどもたちの会★

「ワンちゃん元気になって良かったね！」

① まだ100%じゃないけど、ワンちゃん元気になってきてるよ!!

② 少しずつだけど、長くなってきて、私もホッとしているよ。

③ 我が子の様にかわいかった愛犬が...

④ えっ?! 手術をしても、半身不随になってしまうかもしれません。

⑤ 相談する区長さん!

⑥ そう言えば、娘の夫の両親を忘れていたわ!!

⑦ おお! ありがとう! ありがとうございます!

⑧ それから孫の友人に新しい病院を紹介してもらったら、え?! 本当ですか?!

⑨ 愛犬も家に戻ると少しずつ元気を取り戻しました。

⑩ ワンちゃんのためにも、新原真とお看経を頑張っていくよ!!

